



神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

き さ き
木佐木 ただまさ

日本共産党 見解を紹介します

いのちとくらし
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会 会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

幼稚園再開 「園まかせ」は困ります！

6月18日、国会へ行き、幼稚園の運営再開について、保護者から寄せられた要望を文部科学省に届けてきました。はたの君枝衆院議員も同席しました。

週1~2日、1時間半程度の再開

ある幼稚園は、緊急事態が解除された6月以降、週1日、1時間半のみの受け入れです。年長組は6月15日から週2日になりましたが、7月29日の夏休み開始まで短時間受け入れが続く見通しです。

自粛期間中の保育料 半額負担

この園に子どもを通わせている保護者からは、「自粛期間中に園からは連絡も一切なかったけれど、保育料半額を支払った」「これ以上仕事を休めばクビになる」「仕事が休めない場合は、上の子に小学校を休んで面倒をみてもらうことになる」との話が寄せられています。

保育料の補てんと再開指針を

文科省には、これらの訴えを伝え、幼稚園再開を各園まかせにするのではなく、行政が責任をもって指針を示すこと、自粛期間中や時短受け入れ中などサービス提供を受けていない期間の保護者負担分の補てん、非正規労働者への休業補償として雇用調整助成金の活用を積極的に使えるようにすることなどを要請しました。

文科省は、学校再開のガイドラインを示している、公立幼稚園が1つの目安となっていると言いますが、私立については各園の判断に委ねるとのこと。神奈川県は、横浜市などの多くの自治体で公立幼稚園がありません。また、「学校再開ガイドライン」はあくまで小中学校を念頭に置いたもので、幼稚園への配慮が足りません。



文科省への要請：6/18

文科省には、届けた要望を市の担当者へ伝えてもらうことになりました。

幼稚園用のガイドラインを

今回の文科省への要請に際しては、他の幼稚園からも実情をお伺いしてきました。そこでは、「外遊びの時にマスクをつけさせた方がよいのか、マスクはすぐに汚れてしまうので2枚持たせた方がよいのか、など感染症対策は保護者によって考え方も違うのでガイドラインがないと現場が混乱してしまう。通達などは小学校向けだなと感じる。幼稚園は大きな声も出すし、くっつきもする。幼稚園向けのものを出してほしい。消毒作業が大変でかなり時間がとられる」などの声がありました。

保護者と子どもの立場に立って

子どもたちへの教育と保育の質をしっかりと担保するためにも、園と園児、保護者に目を向けた行政の取り組みが求められています。

引き続き、住民の目線を政治に届けるために皆さんの声を寄せてください。